

NY マーケットレポート (2017年2月27日)

NY 市場では、序盤に発表された米耐久財受注が市場予想を上回る結果となったことを受けて、ドルは一時上昇したが、変動の大きい輸送機器を除いた受注が2016年6月以来のマイナスとなったことを受けて、ドルは主要通貨に対して軟調な動きとなった。また、トランプ米大統領が、医療保険改革が進むまで税制に関する計画は発表されない可能性があることと発言したことを受けて、景気押し上げ期待が後退したこともドル下落の要因となった。

その後は、下落して始まった米株価が堅調な動きとなったことや、米債券利回りが上昇したことを受けて、ドル買い・円売りが優勢となり、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いた。なお、米ダウ平均株価は下落して始まったが、その後は堅調な動きとなり、取引時間中の最高値を更新し、終値ベースの最高値も12営業日連続で更新した。

2017年2月27日(月)

TOKYO	終値	高値	安値
USD/JPY	112.20	112.32	111.92
EUR/JPY	118.72	118.74	118.26
GBP/JPY	139.30	140.00	139.02
AUD/JPY	86.30	86.45	85.85
EUR/USD	1.0582	1.0583	1.0552

LONDON	高値	安値
USD/JPY	112.35	112.18
EUR/JPY	118.90	118.68
GBP/JPY	139.62	139.10
AUD/JPY	86.37	86.08
EUR/USD	1.0593	1.0567

*東京クローズ～NYオープンまでの高安

NEW YORK	終値	高値	安値
USD/JPY	112.69	112.84	111.96
EUR/JPY	119.33	119.46	118.81
GBP/JPY	140.19	140.37	139.26
AUD/JPY	86.50	86.63	86.07
NZD/JPY	81.08	81.23	80.79
EUR/USD	1.0589	1.0632	1.0581
AUD/USD	0.7677	0.7696	0.7670

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	20837.44	+15.68
S&P500	2369.73	+2.39
NASDAQ	5861.90	+16.59
日経225(CME)	19195	+35
トロント総合	15463.51	-69.95
ボルサ指数	47349.20	+301.53
ボベスパ指数	休場	

*ブラジル市場はCarnivalのため休場

2/28 経済指標スケジュール	
08:50	【日本】1月鉱工業生産
08:50	【日本】1月小売業販売額・1月百貨店・スーパー販売額
09:00	【ニュージーランド】2月ANZ企業景況感
09:00	【オーストラリア】1月HIA新築住宅販売
09:01	【欧州】2月GfK消費者信頼感調査
09:30	【オーストラリア】4Q経常収支
14:00	【日本】1月住宅着工戸数・1月建設工事受注
14:00	【日本】2月中小企業景況判断
16:00	【トルコ】1月貿易収支
16:45	【フランス】1月消費者支出
16:45	【フランス】2月消費者物価指数・1月生産者物価指数
16:45	【フランス】4Q GDP
17:00	【スイス】2月KOF先行指数
17:30	【スウェーデン】1月生産者物価指数
17:30	【スウェーデン】1月貿易収支
17:30	【スウェーデン】4Q GDP
17:30	【スウェーデン】1月小売売上高
18:00	【ポーランド】4Q GDP
21:00	【南アフリカ】1月財政収支・1月貿易収支
22:30	【米国】4Q GDP
22:30	【米国】4Q個人消費
22:30	【米国】1月卸売在庫(前月比)
23:00	【米国】12月S&P/ケース・シラー[総合20]
23:45	【米国】2月シカゴ購買部協会景気指数
00:00	【米国】2月消費者信頼感指数
00:00	【米国】2月リッチモンド連銀製造業指数
01:00	【ニュージーランド】2月QV住宅価格

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1258.80	+0.50
NY 原油	54.05	+0.06
CME コーン	368.25	-2.50
CBOT 大豆	1022.00	-2.25

米国債利回り	本日	前日
2年債	1.196%	1.145%
3年債	1.448%	1.394%
5年債	1.863%	1.806%
7年債	2.176%	2.123%
10年債	2.363%	2.313%
30年債	2.983%	2.953%

ドイツ10年債	0.198%	0.186%
英国10年債	1.150%	1.078%

2/28 主要会議・講演・その他予定

- ・サンフランシスコ連銀総裁 講演
- ・セントルイス、アトランタ連銀総裁 講演
- ・トランプ米大統領 議会演説
- ・アトランタ連銀総裁 退任

NY 市場レポート

22 : 30

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米耐久財受注(前月比) 1.8% (予想 1.7%・前回 -0.8%)
 前回発表の-0.5%から-0.8%に修正

1月米耐久財受注[除輸送用機器](前月比) -0.2% (予想 0.5%・前回 0.9%)
 前回発表の0.5%から0.9%に修正



出所 : Bloomberg



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀米耐久財受注▶

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
耐久財新規受注	1.8	-0.8	-4.7	5.0	0.3	0.2
輸送機器除く	-0.2	0.9	1.1	1.1	0.1	0.0
国防関連除く	1.5	1.2	-6.7	5.2	1.3	-0.8
資本財	4.2	-3.0	-13.9	12.5	2.0	-0.1
輸送機器	6.0	-4.4	14.7	12.3	0.7	0.6
総受注残	-0.4	-0.7	-0.2	0.8	-0.2	-0.2
総在庫	0.0	-0.1	0.2	-0.1	0.0	0.1
総出荷	-0.1	1.6	0.4	-0.2	0.8	0.0

1月の米耐久財受注は、市場予想の+1.7%を上回る前月比+1.8%の2303億5400万ドルとなり、3ヵ月ぶりのプラスとなった。輸送機器の受注が大きく伸びた一方、輸送機器以外の受注が低調となり、輸送機器を除いた受注は-0.2%と、2016年6月以来のマイナスとなった。

①1月の受注は、輸送機器が+6.0%となり、自動車・同部品が+0.2%、民間航空機は+69.9%、国防関連の航空機は+59.9%だった。輸送機器以外では、一次金属が-1.6%、電算機・電子製品が-1.6%、電機・家電が-2.2%、一般機械は+0.5%。

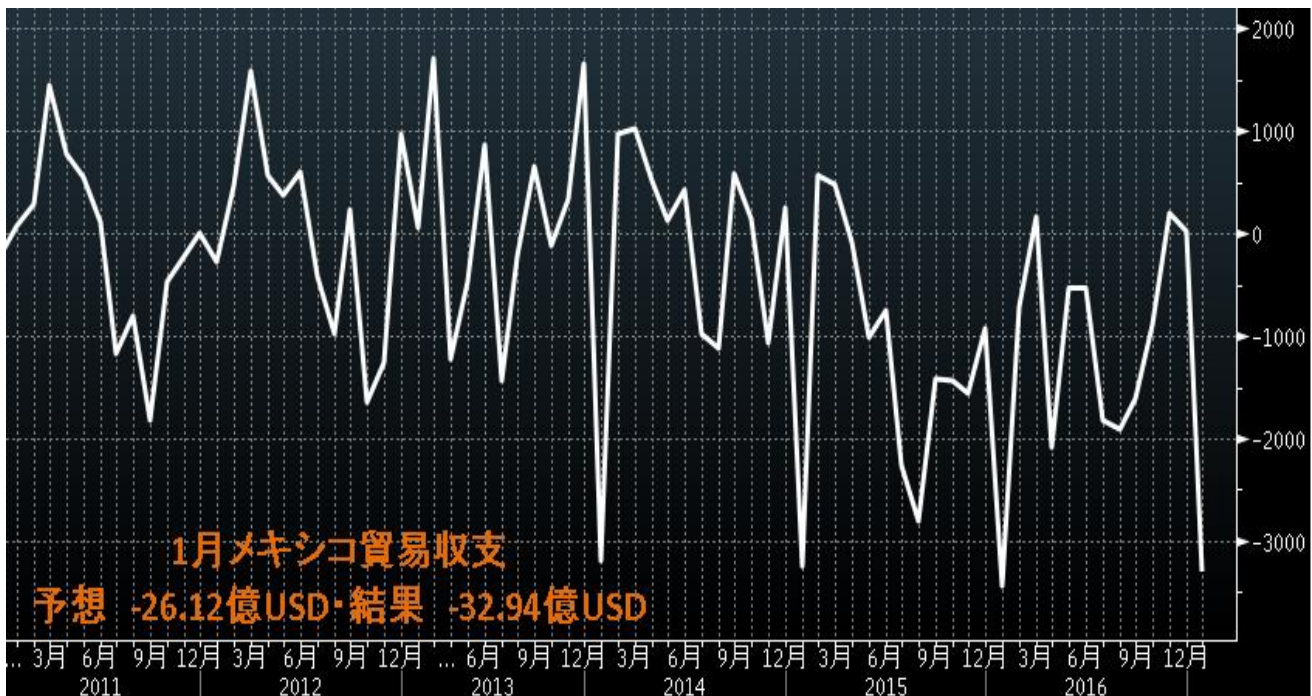
②資本財は+4.2%となり、資本財から国防関連を除いた受注は+3.6%、民間設備投資の先行指標となる非国防資本財から航空機を除いたコア受注は-0.4%と4ヵ月ぶりのマイナス。国防関連は+8.0%。

③耐久財全体の出荷高は、前月比-0.1%、受注残高は-0.4%で在庫高は横ばいだった。

23:00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月メキシコ貿易収支 -32.94億USD (予想 -26.12億USD・前回 0.28億USD)



出所：Bloomberg

23 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月メキシコ失業率 (季調前) 3.59% (予想 3.84%・前回 3.37%)

1月メキシコ失業率 (季調済) 3.57% (予想 3.73%・前回 3.68%)



出所 : Bloomberg

0 : 00

◀ 経済指標の結果 ▶

1月米中古住宅販売仮契約 (前月比) -2.8% (予想 0.6%・前回 1.6%)

前回発表の1.6%から0.8%に修正

1月米中古住宅販売仮契約 (前年比) 2.7% (前回 -2.0%)



出所 : Bloomberg

経済指標データ

◀ 中古住宅販売仮契約 ▶

	1月	12月	11月	10月	9月	8月
全米	-2.8	0.8	-1.3	0.1	0.7	-1.3
北東部	2.3	1.3	1.0	0.0	-0.6	2.1
中西部	-5.0	-0.3	-1.7	1.2	0.3	-1.0
南部	0.4	1.6	-0.9	-0.7	1.0	-2.0
西部	-9.8	2.0	-3.3	0.5	1.9	-2.6

(前月比%)

NAR（全米不動産業者協会）が発表した1月の中古住宅販売仮契約指数は、前月比-2.8%の106.4（2001年=100）となり、2ヵ月ぶりのマイナスとなった。前年同月比では+2.7%。地域別では、北東部が+2.3%、南部が+0.4%、中西部は-5.0%、西部は-9.8%。NARのチーフエコノミストは、供給不足による価格上昇と住宅ローン利率の上昇が影響したと指摘している。

0:00

◀ 要人発言 ▶

トランプ大統領

- ・「大統領予算案では、公的な安全を目指すものになる」
- ・「テロリストを国内に入れないことが予算の焦点になる」
- ・「インフラに大きく支出するつもりだ」
- ・「医療保険のコスト判明までは税制計画をすすめることは不可能だ」

0:31

◀ 経済指標の結果 ▶

2月ダラス連銀製造業活動指数 24.5（予想 19.4・前回 22.1）



出所：Bloomberg

2:00

◀ 要人発言 ▶

カプラン・ダラス連銀総裁

- ・「労働市場にはスラック(たるみ)が残っている」
- ・「金融政策は現在のところ、かなり緩和的だ」

- ・「政策金利は早めに引き上げるべきだ」
- ・「失業率 4.8%が示唆する以上に、労働市場のスラック(たるみ)がある可能性もある」
- ・「米金利、比較的低い水準が長期にわたり続くだろう」

《欧州のポイント》

仏大統領選の世論調査（オピニオンウェイ）では、第1回投票での支持率はルペン国民戦線（FN）党首が26%（20日時点27%）、マクロン前経済相が24%（20%）、フィヨン元首相は21%（20%）、社会党候補のブノワ・アモン氏は15%（16%）、急進左派のジャンリュク・メレンション氏は11%（12%）。決選投票は、マクロン氏対ルペン氏なら62%対38%（20日時点58%対42%）フィヨン氏対ルペン氏なら58%対42%（56%対44%）。

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、欧州企業の業績改善期待で買いが優勢となった。ただ、合併計画が白紙になるとの懸念を背景に、ロンドン証券取引所とドイツ証券取引所が共に値下がりしたことが圧迫要因となり、英 FT100 指数と独 DAX 指数は小幅高となった。



出所：Bloomberg

ECB 公的部門購入プログラム

	2月24日	2月17日	2月10日	2月3日	1月27日
公的部門	13876.7	13713.8	13541.9	13372.9	13199.4
資産担保証券 ABS	235.4	232.8	232.9	233.6	235.1
カバード債	2121.9	2112.8	2110.0	2096.6	2078.6

(億ユーロ)

《 NY 金市場 》

NY 金は、中心限月が前日比 0.50 ドル高の 1 オンス=1258.80 ドルで取引を終了した。

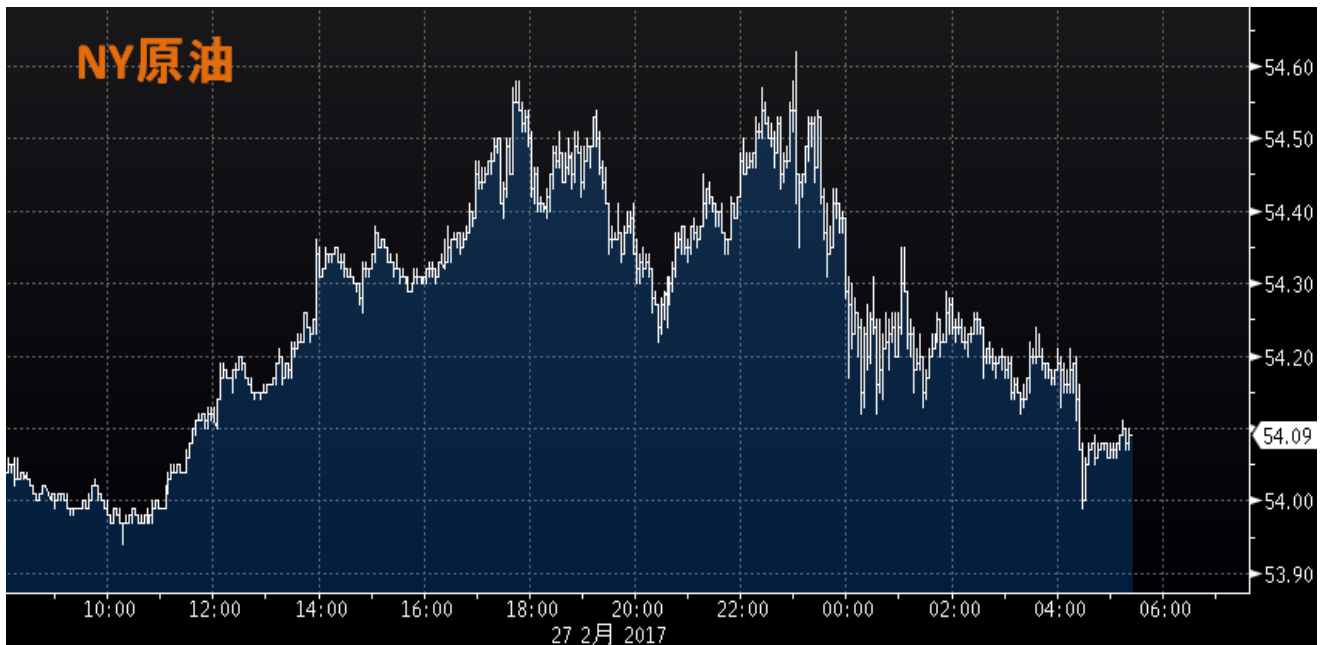
NY 金は、トランプ米大統領の政策を巡る不透明感を背景に、比較的安全な資産とされる金を買う動きが先行した。ただ、トランプ大統領の施政方針演説の内容を見極めたいとの様子見ムードも強く、引けにかけては反落となった。終値ベースでは、昨年 11 月 10 日以来、約 3 カ月半ぶりの高値となった。



◀ NY 原油市場 ▶

NY 原油は、中心限月が前週末比 0.06 ドル高の 1 バレル=54.05 ドルで取引を終了した。

NY 原油は、主要産油国の減産に伴う需給引き締まりで原油価格が一段と値上がりすると観測から買われる一方、米国産の在庫積み上がりの警戒感も根強く、上値の重い動きが続いた。



◀ 米株式市場 ▶

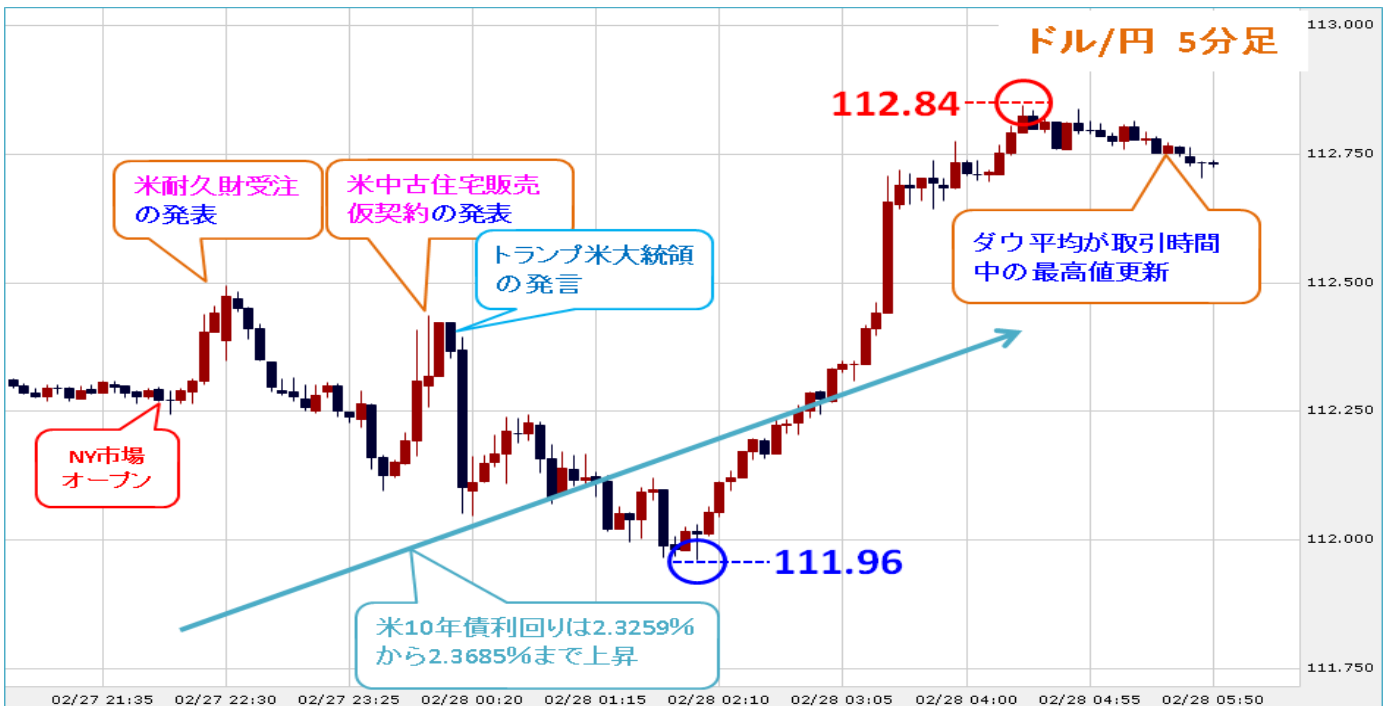
米株式市場は、ダウ平均が前週末まで 11 営業日連続で終値の最高値を更新しており、序盤は利益確定の売りが先行した。ただ、トランプ米大統領の施政方針演説を 2/28 に控え、様子見ムードも強く、限定的な動きとなった。その後は堅調な動きが続き、米ダウ平均株価は 12 営業日連続で高値を更新した。



出所：Bloomberg

《外国為替市場》

外国為替市場は、米経済指標が冴えない結果となったことや、米株価が軟調な動きとなったことから、安全資産とされる円を買う動きが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。ただ、その後は米株価が堅調な動きとなったことや、米債券利回りの上昇を受けて、円が売られる動きとなり、ドル円・クロス円は堅調な動きが続いた。



出所：総合分析チャート

提供：SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複写もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。

本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。